

氏名	宮部明美	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	成人看護学				
学位	博士（看護学）				
学歴	2013年東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科博士前期課程 2023年横浜市立大学大学院医学研究科看護学専攻博士後期課程				
経歴	2013年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科助教 2025年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科准教授				
所属学会（役職）	日本看護科学学会、日本看護学教育学学会、日本看護研究学会、日本手術看護学会、日本栄養治療学会（学術評議員、支部世話人）、日本ヒューマン・ケア心理学会（理事・研修委員）、日本運動器看護学会（研究支援委員）、日本健康医学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2025年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作(著書及びその他の著作物)						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	消化器がん手術後の高齢者に対する退院後の生活の見通しをもった食支援を考える	単独	第41回日本栄養治療学会学術集会		○宮部明美	2026.2
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等		発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	高齢者の生活の見通しをもった食支援向上のためのNSTリンクナース育成モデルの開発		研究代表者	2023.4～2027.3	
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	ポジティブ・ヘルスに資する若年者向けヘルスリテラシー育成プログラムの開発		研究分担者	2021.4～2026.3	
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	成人看護学Ⅲ	○	15	教育計画を立案し、講義担当の調整、授業評価などを担当した。講義は周術期看護概論、肺切除術を受ける患者の看護を担当した。		
2	IPW論		15	リフレクションに関してチームワークの体験を自分の力にする方法について講義を担当した。		
3	成人看護援助論		9	成人期にある人々の諸課題として「健康課題を有する人の身体と生活の看護支援-栄養管理・食支援の視点から-」の講義を担当した。栄養障害を有する人のアセスメント、退院支援や継続看護、多職種連携に関する講義内容とし、ディスカッションにて探求できるようにした。		

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	成人看護学Ⅲ	○	15	胃切除手術を受けた患者の看護過程はグループワークを取り入れて、学生同士で共有しながら検討できるように進行了。またピア評価を取り入れ、グループワークが活発になるように工夫した。周術期の技術演習では術後の初回歩行や寝衣交換を担当し、実際に臨床で使用しているドレーンなどの器具を用いて、学生が患者役や看護師役を体験できるようにした。
2	成人看護学Ⅴ		6	慢性病をもちながら生活している患者事例において、学生が主体的に看護過程を展開できるようにグループワークを進行了。技術演習では、心電図モニタリング、シミュレーションを担当した。
3	臨床実践看護		8	突発事象への対応シミュレーションにおいて、模擬患者を担当し、学生が主体的に実践できるように支援した。
4	フィジカルアセスメント		4	臨床推論シミュレーション演習にて、事例を用いた推論学習として、病態の仮説とアセスメント、身体診察を抽出し、実際の身体診察や所見からアセスメント方法を学べるよう支援した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	成人看護学実習Ⅰ		2025.5～2025.6	臨地実習において、手術室・ICUの見学を引率し、カンファレンスにて学生同士が学びを共有できるように指導した。
2	成人看護学実習Ⅱ		2025.5～2025.6	臨地実習において、学生の受け持ち患者の看護過程の展開および看護技術の提供において個別性を考慮し、実習指導者と連携しながら指導を行った。
3	総合実習		2025.7	臨地実習において、学生自身の課題を達成でき、今後の看護専門職者の在り方について考えられるよう、実習指導者と連携しながら患者選定や学習状況に応じた指導を行った。
4	IPW実習		2025.10	障害児施設へ出向き、学生が主体的に参加できるよう、施設FTと協力しながら進めた。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2025.4～2025.12	主指導 4名	副指導 名
2	修士論文	2025.4～2026.3	主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 1名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	日本運動器看護学会第3回研修会	日本運動器看護学会	臨床での取り組みや心に残った事例の振り返りから実践報告や研究につなげてみよう	2026.2
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	日本栄養治療学会	学術評議員、支部世話人		2025.4～2026.3
2	日本ヒューマン・ケア心理学会	理事、研修委員、選挙管理委員		2025.4～2026.3
3	日本運動器看護学会	研究支援委員		2025.6～2026.3
4	日本ヒューマン・ケア心理学会	選挙管理委員		2025.11～2026.2
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			

(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	倫理委員会		2025.4～2026.3
2	学科等における委員会等	実習計画調整会		2025.4～2026.3
3	学生支援	4年編入学生担任		2025.4～2026.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			